

事業報告書

団体名：ほづがわチャリティ・ファンラン実行委員会

1. 事業名	ほづがわチャリティ・ファンラン
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>本事業は、大人から子供まで、自然豊かな保津川の景観の中を、それぞれの体力に応じてランニングを楽しむことで、新たなスポーツ文化を創造するとともに、スポーツを通じた「チャリティ」によって、今後の保津川にかかわるさまざまな市民活動を継続的・自立的に支える仕組みの構築をめざして実施したものである。</p> <p>【事業概要】</p> <p>日にち：2014年11月30日(日)</p> <p>会場：保津大橋下流(新堤防)をスタート・ゴールとし、保津河川敷を周回するコース (1周 2.5km、10km・5km・2.5km・フリー・ウォーキングを実施)</p> <p>対象者：すべての市民ランナー(幼児からシニアまで全年齢を対象)</p> <p>参加者数：事前エントリー285名、当日エントリー97名 合計 382名(前年 358名)</p> <p>ボランティアスタッフ：77名</p> <p>参加費：大人 2500円・中高生 500円・小学生以下 200円(新たにチーム割引(1割引)を追加) ※当日エントリーは、大人 3000円・中高生 800円・小学生以下 300円</p> <p>【今年度の重点的な取り組み内容】</p> <p>今年度は、保津川の景観を楽しめる新コースの設定と広報体制のさらなる整備を重点的にを行い、今後の継続的かつ発展的な取り組みにつなげるよう事業を推進した。特に広報については、ホームページのほか、ランナー向けの情報サイト、Facebookの広告機能を積極的に活用して情報発信を行った結果、前年を上回る応募を得た。</p> <p>【寄付について】</p> <p>参加者から徴収した参加費は、(公財)京都地域創造基金に設置された「母なる川・保津川基金」に収益の全額を寄付することとし、前年度なみの約30万円を寄付できる見込みである。</p> <p>【その他】</p> <p>当日、会場には地域の特産品などの物産販売ブースを設置し、好評を得た。また、医師および看護師院に救護班を依頼するとともに、ボランティアスタッフに事前に救急救命講習を実施し、万全を期した。</p>	
3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>本事業の実施は多数の団体との協働によって実現した。一連の取り組みを通じて、大会のスムーズな運営が実現しただけではなく、団体間相互の理解も深まったことが大きな成果であった。以下では、分野ごとにその成果を記す。</p> <p>【事務局運営】</p> <p>参加者の受け付けや問い合わせへの対応など、事務局の作業量は膨大であったが、前年に引き続きNPO法人プロジェクト保津川とNPO法人亀岡子育てネットワークの協力をえて運営にあたった。具体的には、プロジェクト保津川が問い合わせ対応、行政との各種手続きやホームページ、SNSサイトの運営を担当した。また、亀岡子育てネットワークは物品整理や各種書類の発送や書類作成にあたりととも</p>	

に、ポスターやチラシ、ホームページの制作をおこない、円滑なパートナーシップのもとでスムーズな事務局運営を行うことができた。

このほか、前年度に引き続き、**託児サービス（有償）およびキッズスペース**の設置を行った。これまでは小さい子供を連れてのスポーツイベントへの参加は難しかった人も多く、大変好評であった。

【市民団体・企業・個人との協働】

市内の各種団体を通じてボランティアスタッフの募集をおこなうとともに、当日のブース出展も募った。結果、ボランティアスタッフは前年度（66名）を上回る77名の参加を得ることができ、スムーズな大会運営が実現した。

また、懸案事項であったスポンサーの獲得については、京都信用金庫、久光製薬からは協賛金や協賛品の提供をいただいた。また、物販ブースの出品者からは売り上げの一部を寄付いただいた。さらに、サッカーチームであるA.C.infiniや保津川トライアスロン倶楽部、(株)ビックスマイル、(株)ヤマキ、保津川遊船企業組合といった市内のスポーツチームや企業からは、物品の提供やスタッフの応募をいただき、スムーズな大会運営が実現した。さらに、保津町自治会や保津おやじの会、亀岡市役所、カップ研究会、京都地域創造基金からも、ボランティアスタッフの派遣、資材の提供などをいただくなど、地元の各種団体の積極的な協力も大きなものであった。そのほか、福岡県はじめ遠方からの参加者も多く。また、個人でのボランティアとしての参加も多数あり、前回大会を上回るボランティアスタッフを確保することができた。

【行政機関との協働】

本事業は河川敷を利用したものであったが、管理者である京都府南丹土木事務所からは、一時使用の許可申請に関して適宜、アドバイスをいただいただけではなく、「ほづがわかまちづくり」のPRの一環として積極的な協力をいただいた。特に、コースの選定や準備にあたっては、保津町自治会および沿道の住民のみなさんにも協力を要請いただくなど、多大な協力をいただいた。

また、亀岡市からは、前回大会に引き続き本支援プログラムだけではなく、亀岡駅周辺でのノボリの掲示、各種広報媒体での掲載、マスコミへの告知に多大なご協力をいただいた。特に、市内の幼稚園・保育園、小中学校でのチラシ配布は、その効果も大きかった。また、上下水道部からは年谷浄化センターの駐車場としての利用、参加賞としての飲料水の提供などをいただいた。一連の市からの積極的な、大変ありがたいものであった。

4. 協働の効果

※企画提案型協働事業のみご記入ください。

事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。

本事業は、近年のランニングブームの高まりを受け、保津川という本市を代表する自然空間を走ることをつうじて、その収益により環境保全など市民の活動を支援することを第一の目的として開催した。積極的な情報発信につとめた結果、台風18号による大きな被害があった後にもかかわらず**参加者数は目標の300人を上回る382人**を得ることができ、**寄付金も目標の10万円を上回る約30万円**を集めることができた。

本大会は市外からも積極的に参加者を募り、交流人口の増加に貢献することをめざしていたが、近畿2府4県のほか**東京・岡山・香川・福岡**などからの参加者もあった。「京都観光のついでに」として参加される方も多く、ゴール後には保津川下りに乗船される方や丹波EXPOに参加される方も多くみられ、

本市の観光振興にも貢献することができた。

特に、情報発信は積極的に行い、亀岡市内および京都市内でのチラシやポスターの配布・掲示に加え、一般的なホームページのほか facebook での情報発信にも力を入れた。特に facebook での広報は、広告も出すなど力を入れ、1日に500人を超えるアクセスを達成した記事もあった。さらに、facebook を通じて、保津川遊船など地元企業による広報も実施して頂いた。

本事業のもう一つの目的は、市民の積極的な参加を通じて、故郷である亀岡への愛着を深めることにあったが、選手だけではなく、ボランティアの参加（個人・団体）も多数実現した。個人のボランティアは、前回は大きく上回る77人となった。なお、スタッフには説明会とあわせて亀岡消防署による救急救命講習も実施するとともに、医師や看護婦に救護スタッフとして参加いただくなど、万一にも備えたが、そうした経験の蓄積も、今後の大会運営にとって欠かせない貴重なノウハウの蓄積となった。また、地元である保津町自治会ははじめ亀岡市内の各種団体の協力もいただき、NPO など比較的新しい市民団体との交流の場とすることもできた。

さらに、今年度は南つつじヶ丘太鼓のみなさんによる演奏の申し出もいただき、スタート時に演奏していただいたが、ランナーだけではなく、演奏した子供たちからも普段とは異なる場所での演奏は良い経験になったと好評であった。また、A.C.INFINI からも中学生・高校生の選手のボランティアとしての参加が多数あり、エイドステーションの運営にあたってもらったが、こちらもランナーはもとより選手の満足度も高いものであった。

今回は天候にはめぐまれ、また保津川沿いの新コースも好評で、SNS やブログ、動画サイトには参加者のみなさんのレポートも多数掲載されたことも今回の特徴である。ただ、来年度は同時期にハーフマラソンが予定されているため、開催時期の再検討も必要である。

年末の忙しい時期にも関わらず、参加者の満足度も高く、また多くの市民の協力も得られた。この経験を踏まえて、さらにこの事業を発展させ、市民と企業、行政の協働を進め、市民や地域の活動資金を自立的に獲得するロールモデルとなることをめざしたい。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

第3回

ほづがわ

チャリティ・ファンラン

HOZUGAWA
3rd CHARITY
FUN-RUN

@hozugawa_funrun

ほづがわチャリティ・ファンラン
find us on Facebook



カラダと自然にいいことしよう！

<http://hozugawa-funrun.org/>

ランナー &
ボランティアスタッフ
募集！

ウォーキング
コースあり！

チャリティファンラン



紅葉の保津川を走ろう！

託児サービス
あります！

★保護者同伴で利用可能な
キッズスペースも
あり！

自然の中を楽しく、気持ちよく走り、ふるさとの川をみんなの力で守る。「カラダと自然にいいことしよう！」を合言葉に第3回ほづがわチャリティ・ファンランを開催します。水の音や鳥のさえずりを聞きながら、悠々と流れる紅葉の保津川のほとりを思い思いのペースで楽しみながら走っていただけます。ぜひ、ご参加ください！

2014年 11月30日(日) 10:00~14:00 (受付: 9:00~12:00)

《雨天の場合12月7日(日)》

会場 保津橋周辺の河川敷一帯

事前
エントリー
期間

2014.9/10~10/31

記念品・割引あり！ 当日エントリーも可

主催：ほづがわチャリティ・ファンラン実行委員会 (NPO 法人亀岡子育てネットワーク、NPO 法人プロジェクト保津川、保津川トライアスロン倶楽部)

後援：京都府南丹広域振興局、亀岡市、(公財) 亀岡市体育協会 (申請中を含む)

協力：(株) アオキカーワークス、一電一遊、A.C. infini、NPO 法人ふるさと保津、

(有) 隅田農園、(株) ビックスマイル、保津おやじの会、保津川遊船企業組合、

協賛：京都信用金庫

63 協会、京後組、京・くろがる隊、篠町自治会、
会、みずのき美術館、(有) 山内スポーツ (申請中を含む) 五十番町

チームで参加
してみませんか？

割引あり！

詳しくはHPを
ご覧ください

第3回ほづがわチャリティ・ファンランは、亀岡市交えあいまちづくり協働支援金を受けて運営しています。

走って保津川きれいに

亀岡で350人
チャリティー大会



保津川沿いのコースを走るランナーたち(亀岡市保津町)

キングなど5種目に約350人が出場した。ランナーらは晴天の下、自らのペースで、紅葉の山と川を楽しみながら快走。地元の人たちから「がんばれ」と声援を受けながら、ゴールを目指した。

(久保田昌洋)

参加費が保津川(桂 抜けた。

川)の環境保全に活用される「ほづがわチャリティ・ファンラン」が30日、亀岡市保津町で開かれた。府内外から集まったランナーたちが、保津川下りの船を眺めながら、川沿いや田園のコースを駆け

NPO法人プロジェクト保津川などでつくる実行委の主催。参加費は、京都地域創造基金が運営する「母なる川・保津川基金」を通して、保全団体などへの助成金になる。10歳、5歳、ウオー

